

## 第18 交通事故事件捜査

### 1 交通特殊事件

交通事故を偽装した保険金詐欺事件、運転免許証の不正取得事件、文書の偽変造事件及び事業活動から派生する自動車の使用者の義務違反事件等交通社会に潜在する悪質知能犯罪の検挙を重点とした捜査を推進した。

その結果は、次表のとおりである。

#### (1) 交通特殊事件等の検挙状況

罪種別	令和2年
交通保険金詐欺事件	7件（計約2,340万円）
自動車の使用者の義務違反事件	9件
犯人隠避事件	36件
文書偽（変）造事件	12件
その他	401件
計	465件

注 その他（道路交通法違反教唆等事件・運転免許証不正取得事件など）

#### (2) 主要事件の検挙事例

##### ○ 北九州地区の詐欺グループによる自動車保険（共済）金詐欺事件

所属	北九州地区11所属及び交通捜査課
事件の概要	北九州地区の詐欺グループが偽装交通事故を作出して、自動車保険（共済）金約2,336万円をだまし取った5件の保険（共済）金詐欺事件を検挙した。
罪名等	詐欺
被疑者数等	被疑者 22人

##### ○ 運送会社の営業所長らによる道路交通法（積載物重量制限超過・同下命）違反事件

所属	門司警察署及び交通捜査課
事件の概要	交通死亡事故を端緒として、運送会社の代表取締役が、雇用運転手に対して、同人が運転する貨物自動車の最大積載量を超過して荷物を積載するように命じた道路交通法違反（積載物重量制限超過及び積載物重量制限超過下命）事件を検挙した。
罪名等	道路交通法（積載物重量制限超過・同下命）違反
被疑者数等	被疑者 2人

## 第18 交通事故事件捜査

### 2 ひき逃げ・不申告事件

注1 「ひき逃げ事件」とは、道路交通法第72条第1項前段の救護措置義務違反に係る交通事故をいう。

2 「不申告事件」とは、道路交通法第72条第1項後段の報告義務違反に係る交通事故をいう。

#### (1) ひき逃げ・不申告事件発生・検挙状況等の年別推移

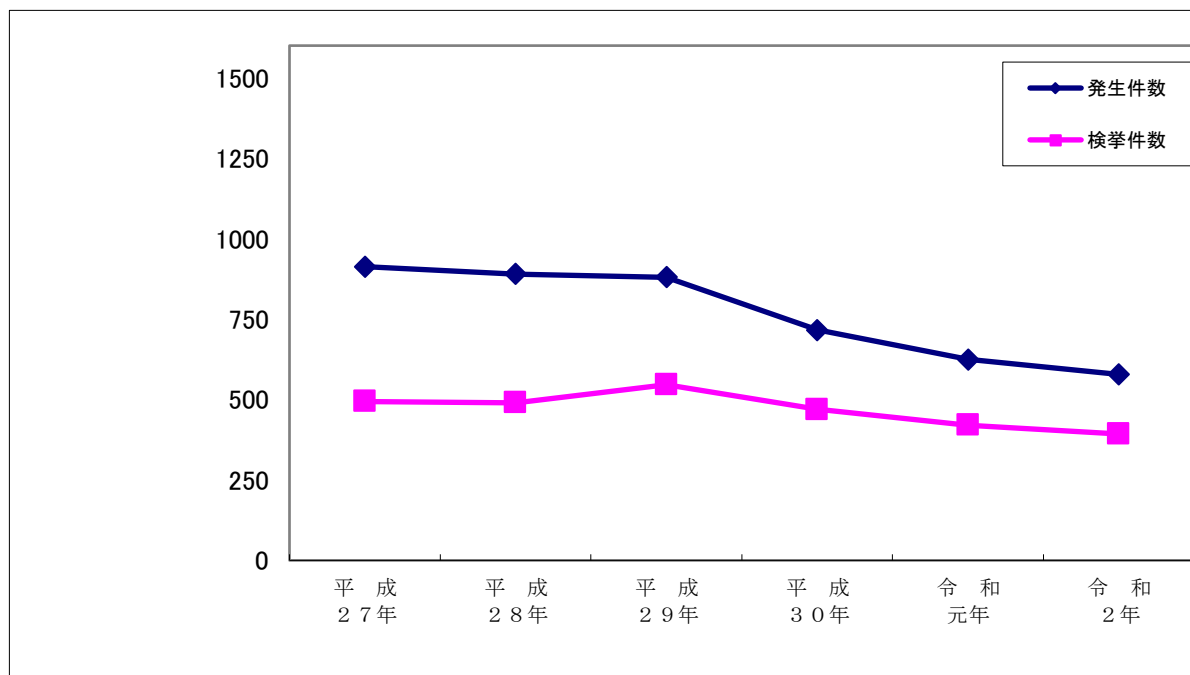
区 分	発生件数(件)			死亡ひき逃げ件数(件)			検挙件数(件)		
		対全事故 比率	指数		対全死亡 事故比率	指数		検挙率	指数
平成元年	1,216 (400)	3.4%	100	16	4.3%	100	1,062 (246)	87.3% (61.5%)	100
2年	1,032 (349)	3.1%	85	21	5.4%	131	882 (199)	85.5% (57.0%)	83
3年	1,025 (376)	3.0%	84	15	4.0%	94	879 (230)	85.8% (61.2%)	83
4年	900 (415)	2.5%	74	18	4.8%	113	729 (268)	81.0% (64.6%)	69
5年	734 (401)	2.0%	60	14	4.2%	88	533 (220)	72.6% (54.9%)	50
6年	727 (408)	1.9%	60	24	6.2%	150	521 (235)	71.7% (57.6%)	49
7年	675 (358)	1.7%	56	18	4.8%	113	488 (202)	72.3% (56.4%)	46
8年	803 (476)	1.9%	66	23	6.6%	144	474 (217)	59.0% (45.6%)	45
9年	877 (532)	1.9%	72	17	5.1%	106	494 (215)	56.3% (40.4%)	47
10年	1,073 (686)	2.2%	88	18	5.6%	113	500 (239)	46.6% (34.8%)	47
11年	895 (490)	1.8%	74	16	5.2%	100	481 (206)	53.7% (42.0%)	45
12年	976 (492)	1.9%	80	12	4.1%	75	532 (216)	54.5% (43.9%)	50
13年	942 (482)	1.9%	77	15	4.7%	94	508 (162)	53.9% (33.6%)	48
14年	951 (576)	1.9%	78	15	4.9%	94	544 (229)	57.2% (39.8%)	51
15年	1,493 (997)	2.9%	123	13	4.3%	81	587 (292)	39.3% (29.3%)	55
16年	1,694 (1,155)	3.3%	139	12	5.0%	75	544 (269)	32.1% (23.3%)	51
17年	1,976 (1,251)	3.8%	163	11	4.6%	69	691 (372)	35.0% (29.7%)	65
18年	1,860 (1,095)	3.7%	153	14	6.0%	88	741 (348)	39.8% (31.8%)	70
19年	1,427 (677)	3.1%	117	11	5.6%	69	697 (237)	48.8% (35.0%)	66
20年	1,479 (564)	3.3%	122	5	2.6%	31	756 (197)	51.1% (34.9%)	71
21年	1,267 (320)	2.9%	104	7	3.7%	44	595 (129)	47.0% (40.3%)	56
22年	1,151 (292)	2.6%	95	6	3.7%	38	589 (123)	51.2% (42.1%)	55
23年	1,153 (258)	2.7%	95	3	2.0%	19	548 (117)	47.5% (45.3%)	52
24年	1,068 (240)	2.5%	88	5	3.0%	31	489 (121)	45.8% (50.4%)	46
25年	1,067 (241)	2.4%	88	6	2.5%	38	538 (150)	50.4% (62.2%)	51
26年	982 (186)	2.4%	81	0	0.0%	0	492 (103)	50.1% (55.4%)	46
27年	913 (312)	2.3%	75	5	3.4%	31	494 (160)	54.1% (51.3%)	47
28年	890 (350)	2.4%	73	6	4.4%	38	490 (175)	55.1% (50.0%)	46
29年	880 (326)	2.5%	72	5	3.6%	31	546 (193)	62.0% (59.2%)	51
30年	716 (255)	2.3%	59	8	6.0%	50	469 (178)	65.5% (69.8%)	44
令和元年	625 (236)	2.3%	51	4	4.3%	25	421 (165)	67.4% (69.9%)	40
2年	578 (262)	2.7%	48	2	2.2%	13	393 (179)	68.0% (68.3%)	37

注1 表中の( )内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

2 「指数」は、平成元年の各件数を100とする。

## 第18 交通事故事件捜査

### (2) 過去5年のひき逃げ・不申告事件発生・検挙状況



区 分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
発生件数	913	890	880	716	625	578
	(312)	(350)	(326)	(255)	(236)	(262)
指数	100	97	96	78	68	63
死亡ひき逃げ件数	5	6	5	8	4	2
対全事故比率	2.3%	2.4%	2.5%	2.3%	2.3%	2.7%
検挙件数	494	490	546	469	421	393
	(160)	(175)	(193)	(178)	(165)	(179)
検挙率	54.1%	55.1%	62.0%	65.5%	67.4%	68.0%
	(51.3%)	(50.0%)	(59.2%)	(69.8%)	(69.9%)	(68.3%)

注1 表中の( )内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

2 「指数」は、平成27年の各件数を100とする。

## 第18 交通事故事件捜査

### (3) 令和2年中のひき逃げ・不申告事件

#### ア ひき逃げ・不申告事件の発生・検挙状況

ひき逃げ・不申告事件の発生件数は578件で、前年に比べ47件(7.5%)減少した。  
 検挙件数は393件で、検挙率は、68.0%と前年に比べ0.6ポイント増加した。

#### ○ 令和2年中のひき逃げ・不申告事件の発生・検挙状況

区 分	発生件数	検挙件数	検挙率
死亡事故	2 (2)	1 (1)	50.0% (50.0%)
重傷事故	31 (24)	29 (20)	93.5% (83.3%)
軽傷事故	545 (236)	363 (158)	66.6% (67.0%)
合 計	578 (262)	393 (179)	68.0% (68.3%)

注 表中の( )内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

#### ○ ひき逃げ・不申告事件の前年比

区 分	発 生			検 挙			
	令和2年	前年比	増減率	令和2年	検挙率	前年比 (ポイント)	
ひき逃げ	死亡	2	-2	-50.0%	1	50.0%	-50.0
	重傷	24	-1	-4.0%	20	83.3%	-16.7
	軽傷	236	+29	+14.0%	158	67.0%	+1.3
	計	262	+26	+11.0%	179	68.3%	-1.6
不申告	死亡	0	±0	--	0	--	--
	重傷	7	-10	-58.8%	9	128.6%	+69.8
	軽傷	309	-63	-16.9%	205	66.3%	+0.4
	計	316	-73	-18.8%	214	67.7%	+1.9
合 計	死亡	2	-2	-50.0%	1	50.0%	-75.0
	重傷	31	-11	-26.2%	29	93.5%	+10.2
	軽傷	545	-34	-5.9%	363	66.6%	+0.8
	計	578	-47	-7.5%	393	68.0%	+0.6

## 第18 交通事故事件捜査

### イ 令和2年中のひき逃げ事件

注 構成率については四捨五入のため、各項目の合計は必ずしも100%とは限らない。

#### (ア) ひき逃げ事件の発生状況

##### ○ 時間別発生状況

区 分	午 前						午 後						計
	00～ 02時	02～ 04時	04～ 06時	06～ 08時	08～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	
発生件数													
合 計	8	11	10	31	40	17	22	20	35	31	20	17	262
構 成 率	3.1%	4.2%	3.8%	11.8%	15.3%	6.5%	8.4%	7.6%	13.4%	11.8%	7.6%	6.5%	100.0%
内 訳	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	重 傷	1	1	4	5	1	1	0	3	3	1	3	24
	軽 傷	7	10	6	26	39	16	22	19	31	28	19	236

#### (イ) ひき逃げ事件検挙の端緒等

ひき逃げ事件検挙の端緒は、「追跡・検問・職質」などの警察活動によるものが77件(43.0%)、「目撃者の通報」などの民間協力によるものが102件(57.0%)であった。

ひき逃げ事件の逃走動機は、「事故を起こしたことに半信半疑であった」「被害者の被害が大したことはないと思った」「事故を起こしたことが恐ろしくなった」の順であった。

##### ○ 検挙の端緒別状況

端緒別	警 察 活 動						民 間 協 力					合 計
	追跡・ 検問・ 職質	聞 き 込 み	検 査 索	現 場 の 遺 留 品 等	そ の 他	小 計	目 撃 者 の 通 報	目 撃 者 等 の 追 跡	被 害 者 等 の 申 告	そ の 他	小 計	
区 分												
件 数	12	18	17	2	28	77	62	8	26	6	102	179
構 成 率	6.7%	10.1%	9.5%	1.1%	15.6%	43.0%	34.6%	4.5%	14.5%	3.4%	57.0%	100.0%

注 警察活動の「その他」とは、防犯カメラ映像解析など、民間協力の「その他」とは防犯カメラ映像の提供など。

##### ○ ひき逃げ事件の逃走動機

・事故を起こしたことに半信半疑であった	12.3%
・被害者の被害が大したことはないと思った	10.6%
・事故を起こしたことが恐ろしくなった	9.5%
・刑事処分又は行政処分を恐れた	9.5%
・飲酒運転中であった	8.4%
・ひき逃げの事実否認	7.8%
・その他	41.9%

注 「その他」とは、逃げてしまえば分からないと思った、無免許運転中であった、損害賠償を恐れたなど。

